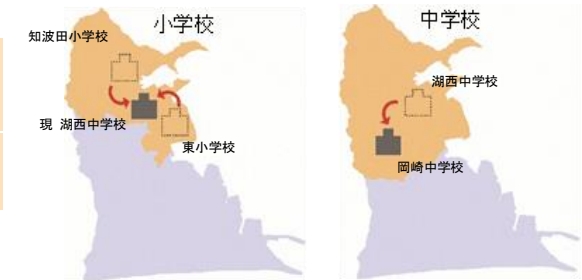


湖西市学校再編基本計画【北部地区】（概要版）

本計画に基づき、次の再編案により北部地区の小中学校の統合を進めます。

小学校	東小学校と知波田小学校を統合 （湖西中学校の校舎を改修して使用）
中学校	岡崎中学校に統合



1 計画策定の趣旨

急激な少子化の進行を考慮し、令和3年6月に学校教育施設適正化検討委員会を設置し、本市の小規模小中学校の望ましい教育環境を検討し、報告書にまとめました。また、今後のよりよい教育環境の実現に向けた「湖西市立小中学校再編方針」を令和5年5月に策定しました。その後、再編方針に基づき、北部地区において学校再編検討委員会を立ち上げ、学校再編基本計画の策定に向けた検討を行いました。適正化検討委員会報告書にて示された、中学校における望ましい教育環境については次のとおりです。

教育環境	理由（抜粋）
【1学年の生徒数】 30人以上	・切磋琢磨しながら学校生活を送り、心身を大きく成長させることができる。 ・人間関係に問題が生じた場合でも、新たな人間関係を築きやすい。
【1学年の学級数】 2学級以上、 できれば3学級	・人間関係に大きな問題が生じた場合には、子どもにも、保護者にも居場所がなくなってしまう可能性が高い。 ・学級ごとに競い合う学校行事を通して、協力することの大切さを学ぶことができる。

2 再編案の評価および望ましいと考える再編案

再編案のA案とB案について、小学校は東小学校と知波田小学校を湖西中学校の位置に統合する点は同条件となるため、これまで検討した内容のうち主に中学校に関する項目を比較しました。結果、子どもたちにとってよりよい教育環境を充実させるという考え方にに基づき、次の①から④までの観点から、市として最も望ましいと考える再編案を「A案」とし、北部地区の学校再編を進めます。

再編パターン		A案 東小と知波田小が統合 湖西中は岡崎中に統合	B案 小中一体型
① 教育環境	生徒数（令和18年時点の想定）	1学年平均：129人	1学年平均：26人
	学級数（令和18年時点の想定）	全学年 4学級	全学年 1学級
	クラス替え	可能 ○	将来的に不可 △
② アンケート調査結果		46.8% ○	42.2% △
③ 学校施設の概算工事費		約14億円 ○	約23億円 △
④ 通学方法	バス通学対象人数	小22人/中10人	小22人
	自転車通学対象人数	増える（121人）	現状のまま（94人）

【観点】	
① 教育環境	・中学校では将来的にもクラス替えが可能となる生徒数が確保できることから、教育環境を考慮すると、A案の方が望ましい。
② アンケート調査結果	・僅差ではあるもののA案を支持する意見が多いという結果であった。
③ 学校施設	・A案の方が工事期間が短く、在校生の負担を軽減することができる。 ・A案の方が校舎や体育館、グラウンドに余裕があり、子どもたちの教育環境の充実にもつながる。
④ 通学方法	・通学距離だけ見るとB案の方が生徒の負担が小さいと言えるが、スクールバスの導入や安全な通学路の整備などを行うことにより生徒の負担を減らすことができると考える。

3 再編時期

下記表の再編スケジュール案により令和10年度からの開校を目指し遅滞なく準備を進めていきます。なお、仮設校舎の設置については、湖西中学校の設計業務を行う中で検討していきます。

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
小学校 【湖西中学校の改修】	改修設計・工事								
	（仮設校舎工事）								
	（仮設校舎での授業）								
	学校統合								
中学校 【岡崎中学校の改修】	改修設計・工事								
	学校統合								
学校間交流事業	東小・知波田小								
	湖西中・岡崎中								
	北部地区の小学校・岡崎小学校								

4 今後の検討事項

下記①～⑤の検討事項については、令和7年度に設置する「北部地区小中学校統合準備委員会(仮称)」において、協議及び検討を進めてまいります。

項 目	検討事項等
① 安全安心な通学路	通学経路や安全対策について、道路管理者や警察などの関係機関と連携して通学路の安全確保を検討
② スクールバスなどの通学手段	スクールバスや既存のコーちゃんバスの活用も含め、対象範囲や最適な通学手段を検討
③ 交流事業の実施	子どもたちの環境の変化に伴う負担を軽減するため、小学校間や中学校間における各種交流事業の検討
④ 再編時の児童生徒に対する配慮	学校再編実施時に受験を控えている小学校6年生や中学3年生にかかる環境変化に対する配慮や再編時の中学校の制服、部活動の検討
⑤ 地域との交流	・現在も知波田小学校、東小学校においては地域の方々に支えられているため、再編後も両地域の方々に支えていただけるような交流事業を検討 ・地域の方々との交流を図るための学校内施設の整備、体制の構築

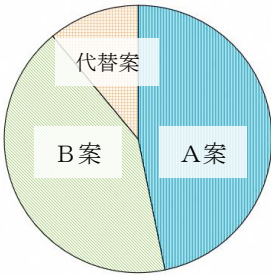
【参考】アンケート調査実施概要

1. 調査対象及び実施期間

調査対象：令和6年度時点で北部地区にお住まいで、0歳児から小学校6年生までのお子様のいる世帯（284世帯）
期間：令和6年7月10日（水）～8月4日（日）

2. アンケート調査結果

- ・今回のアンケート調査の回答率は、76.8%（218／284世帯）です。
- ・北部地区の子育て世帯が望ましいと考える再編案は、A案「東小学校と知波田小学校を統合し、湖西中学校は岡崎中学校に統合」が46.8%（102人）、次いでB案「小中一体型（東小学校・知波田小学校・湖西中学校）の学校」が42.2%（92人）、代替案は11.0%（24人）でした。



表：「望ましいと考える再編案」の選択理由（抜粋）

【A案】岡崎中学校に統合	【B案】小中一体型
・多くの人と関わることができ、活動の幅が広がる ・部活動の選択肢が多い ・クラス替えが可能 ・B案は再度再編が必要になる	・通学距離が短い ・A案は通学路の安全面に不安 ・小規模校、少人数の方がよい ・A案は途中での学校変更不安